



# 通信

# おおつき和弘

発行：平成23年1月 相模原市議会議員 大槻和弘 252-0317 相模原市南区御園5-5-20 TEL 042-769-8327 FAX 042-750-8814 (議会控室)



潤水都市 さがみはら

## あなたと共に日本一輝く 安全安心の都市づくり

まち



相模原市は、「政令指定都市」として新たな一步を踏み出しました。  
私は、新しい「自治のしくみ」を生かし、日本一輝き安心して暮らせる  
相模原の実現に向け勇気を持って邁進します。

### 「日本一輝く相模原」のために 3つのアジェンダ

#### 1 安心

#### 安全安心の都市づくり！

- 市民が主役。市民サービスの向上。お役所仕事の打破！
- 子育て、医療、福祉、安心して暮らせる生活環境の整備！
- 日本一安全な防災機能の充実と防犯対策の推進！

#### 2 活力

#### 「潤水都市さがみはら」の発信！

- 人、物の行き交う広域交流拠点化の推進！
- 産業集積、誘致の推進と市内産業の活性化！
- 人、自然、文化、産業の調和した都市計画と都市機能の充実！

#### 3 改革

#### 地方分権改革・議会改革の推進！

- 国、県からの税財源と権限移譲を進め自立都市の機能拡大！
- 議会の政策実現力の向上で、機能する議会への転換！

### おおつき和弘 スプロフィール

経歴

1955年(昭和30年)山形県酒田市生まれ  
 静岡県下田市立下田小学校  
 北海道根室市立花咲小学校  
 東京都品川区立第2延山小学校  
 相模原市立相模台中学校(2期生)  
 神奈川県立大和高等学校(9期生)  
 多摩美術大学美術学部デザイン科卒業  
 大槻総合印刷研究所 代表

自治体歴

自治会法人 御園五丁目 自治会長(8年)  
 相模台地区 自治会連合会 副会長(4年)  
 御園児童館運営委員長(6年)  
 双葉小学校児童クラブ運営委員長  
 双葉小学校ふたばっ子見守り隊 初代隊長・現顧問  
 防災専門員(7年目)  
 双葉小学校避難所運営協議会 会長(3年)・現顧問  
 相模原災害ボランティアネットワーク副代表・現委員

受賞

相模原市市政功勞表彰  
 市長感謝状(2回) 自治会活動・児童館運営  
 神奈川県警察本部長表彰(防犯活動功勞賞)

議員活動

平成19年 相模原市議会議員選挙に初当選(1期目)  
 2009年(平成21年)1月  
 市議会改革をめざす若手政策会派  
 「相模原市議会 創史会」結成、会長就任、  
 市議会民生委員会 副委員長・建設委員会 副委員長  
 総務委員会・基地対策、産業集積特別委員会 委員  
 全国災害ボランティア議員連盟会員

ブログで活動記録公開中  
「おおつき和弘」で検索

# ① 保育所待機児童を 早急に解消すべきだ！

本市の保育園の待機児童数は、昨年10月1日で827名、抜本的な対策が急務だ。認定保育室制度の活用や、企業内保育施設への助成など積極策が必要だが見解は？  
また、2014年に待機児童ゼロの目標の達成についての市長の見解は？



## 市長

市では、現在認可保育所の整備についての積極策を検討している。認定保育室についても検討したい。企業内保育施設への助成は、新たな助成制度などの独自の取組みについて検討したい。

保育所の待機児童解消については、喫緊の課題であり、今年度は400人を超える認可保育所の定員増や、新たに家庭的保育事業の実施にも取り組んでいる。来年度も、引き続き同程度の認可保育所の定員増を行うとともに、議員のご提案も含めた多様な施策と併せて、待機児童ゼロに向けた取組みを進めていく。

# ② 公共事業には税金を 効率的に使うべきだ！

公共建築には、税金を無駄に使わない観点から、PFI手法(民間の資金、経営能力、技術的能力を活用して、効率的、効果的に公共サービスを実施する手法)を活用すべきと考えるが市長の見解は？

## 市長

本市では、これまでPFI手法導入に至った事業はないが、PFIの活用は、民間活力活用の有効な手段のひとつであることから、市内企業の受注機会の増大に努めるとともに検討を進めていく。

# ③ 市の防災行政は不十分だ。 「防災条例」の制定を！

全国的なアンケートによると、相模原市の防災力についての評価は高くない。防災先進自治体では、国の災害対策基本法による必置の条例以外に、「地域防災活動の憲法」といえる「防災条例」を整備し、市民協働による防災対策を推進しているが、市長の見解は？

## 市長

本市の地域防災計画の着実な推進を図り、より災害に強いまちづくりの実現に資するため、防災に関する条例の制定に向け検討していく。



市民の安全安心をまもり  
税金のムダ使いを許さない。